

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「隣は何をする人ぞ」

電車ですと、いつも思います。電車内のほとんどの人が手にしているのがスマホ。私のように新聞を広げてみている人がほんの数人、読書をしている人も数人です。見渡してみると、老若男女を問わずスマホに目を落としています。スマホの保有率は約50%を超えるようになったそうです。

iPhone からスマホという新しい概念の端末がスタートして約8年。今までパソコンで見ていたホームページが手の中で閲覧できようになる、便利な端末は今後もどんどん進化していくでしょう。

4月、GOOGLE社がモバイル版の検索結果の表示方法を変更し、画面の小さなスマホでもウェブサイトが閲覧しやすく作られているかどうかを、表示順位を決める判断基準に加えると表明しました。ネット上では、これに対してどのように対応していくか、少々大騒ぎになりました。お客様の不安をあおり、スマホ対応をせまるという一部の業者も出現していたようですが、そもそもスマホ対応とはどんなもので本当に必要なのでしょうか。

スマホ対応とは、小さな画面サイズを対象としてコンテンツやデザインを最適化し、指などを用いたタッチ操作が快適に行えて、表示スピードも速い。つまり、スマホでアクセスする人が使いやすい、みやすいページにしようというものです。このように聞くと、少々複雑なような気がしますが、要するに自社のページを見に来てくれた人がストレスを感じることがなく、自社が伝えたい情報をみてくれれば良いということになります。スマホ対応はGOOGLE社に気に入られるためではなく、お客様の立場に立つことを忘れないことのほうが大切だと思います。

たとえば、Bobの業種である場合。お客様の多くが法人関連なら、アクセスは平日がほとんどでしょう。スマホでのアクセスが少ないなら、スマホ対応は必要ないかもしれません。サービスや商品を販売しているならパソコン版のホームページを見直す作業からスタートしてみたらどうでしょうか。これは見にくいな...というものがあれば改良する余地があるかもしれません。

もし、これからホームページをつくる、新しく作り変える計画があるなら、スマホ対応は必ず行っておいたほうが良いと思います。

次に携帯を買い替えるなら？という質問に、すでにスマホをもっているユーザーの80%が概ねスマホに買い替えると答え、ガラケーを使っているユーザーでも約30%の人がスマホに買い替えると答えています。

(出典)総務省「ICTの進化がもたらす社会へのインパクトに関する調査研究」(平成二十六年)

もし、自分がスーパーを経営していたら、商品の見せ方や並べ方などを考え工夫するはず。お客様が目当ての商品を見つけやすく、ストレスを感じないで買えることができるようにしたいと考えます。お客様の立場に立つて考えるというのは、ホームページやスマホ対応も同様です。自社がこれ売りたいと考えるものとお客様のニーズは違っているかもしれません。売り手の立場になってしまっていないか？まずはここから検討していくことが重要なのではないでしょうか。

ご案内

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。

ラップニュースを送って欲しい人がある...

そんなときはご連絡ください。当社から送らせていただきます。
TEL:042-349-3535



スマホ対応が気になる方はこちらから



QRコードからアクセス!
<http://sumaho.raptokyo.co.jp/>